

縄文杉利用の歴史年表

資料 1

年(西暦)	(和暦)	縄文杉発見からの経緯	縄文杉保護の経緯	委員会、検討会、協議会(事業内容)ほか	縄文杉ルート入込	屋久島全体の入込
1966	S41	岩川貞次氏(元上屋久町役場職員)が大岩杉(縄文杉)を発見 縄文杉(樹高25.3m、胸高周囲16.4m)※屋久杉 巨樹・著名木調査より 九州大学の真鍋大覚氏が古代気象と成長量の関係から7,200歳と推論				
1967	S42	大岩杉の発見を南日本新聞が正月一面で【生き続ける『縄文の春』】と報道。	全景を撮影できるようにするために、周辺の樹木を伐採 周辺樹木の伐採以降、土壌浸食、植生消失等は進行			
1968	S43		登山者が増加し、中には在来植物を荒らしている者も多いとされた。営林署などでは取締はおこなっているものの手が回らない状況。 文化庁、鹿児島県教育委員の屋久島天然記念物特別調査団が屋久島の自然を調査(このような調査は44年ぶり) 文化財専門調査官は「原生林を守るために、野放しになっている登山ルートを何かに絞って、あとの一般開放はやめるべき」と見解			
1969	S44					
1970	S45					
1971	S46					
1972	S47					
1973	S48					
1974	S49					
1975	S50					
1976	S51	九州大学工学部の真鍋大覚助教授により、周囲の樹木の年輪測定、幹周の大きさなどから、樹齢7,000年以上と推定				
1977	S52					
1978	S53					
1979	S54					
1980	S55					
1981	S56					
1982	S57					
1983	S58	環境庁は古くても6,300年とした 環境庁作成の環境週間ポスター「7,200歳です」効果で、縄文杉に登山客集中、屋久島の知名度上昇				
1984	S59	学習院大学理学部の木越邦彦教授により、一番古い木片から2170年±110年と推定	「特殊植物等保全事業」(鹿児島県) —縄文杉周辺の植生復元(地域産樹木の植栽、根部の覆土、土砂流出防止措置、立入禁止柵や注意標識の設置)—(S59～S61) 「縄文杉保護対策調査」(鹿児島県)(S59～S60)			
1985	S60	左側の太枝(着生していたヤマグルマ)が積雪で折れた	縄文杉が発見されてから、登山者に見えやすいように周辺の木を伐ったため、土砂の流出で倒状や枯死が心配され、根が露出した箇所を、土のうや枯れ木で覆った。立入制限の方針			
1986	S61					
1987	S62					
1988	S63	縄文杉ロープウェイ建設計画と反対運動				
1989	H1					171,484
1990	H2					187,469
1991	H3			屋久島縄文杉登山のあり方検討調査(阿蘇くじゅう国立公園管理事務所)(H3～H4)		221,765

年(西暦)	(和暦)	縄文杉発見からの経緯	縄文杉保護の経緯	委員会、検討会、協議会(事業内容)ほか	縄文杉ルート入込	屋久島全体の入込
1992	H4		「生命の砂一握り運動」(鹿児島県実施) ー縄文杉の保護と自然保護思想の啓発ー(H4～H6)	「屋久島縄文杉登山のあり方検討会」開催。下記内容の報告案として承認 ・登山者の金属製スパイク靴使用の自粛 ・縄文杉保護のため、立入禁止柵を高くする ・プラットホームを設置する		241,623
				屋久島環境文化村マスタープラン報告書(鹿児島県) ・「屋久島観光2つの選択」において、入込量拡大・観光の質的転換、環境学習(環境文化追体験)を通じた自然の観光化等の提起		
1993	H5	世界自然遺産に登録(縄文杉生育地も含む) 屋久島の日高十七郎町長は「遺産登録により観光客の急増なども懸念されるが、無制限な受け入れにストップをかけていけば大丈夫」としていた。屋久島町は、自然と人間の共生による、持続性のある発展を目指す				209,219
1994	H6		観光客が過度に集中し、樹皮剥ぎ、根への踏圧、から抜本的な保護が求められる	屋久島山岳部利用対策事業として屋久島山岳部利用対策協議会発足 ・マナー徹底のための啓発 ・縄文杉周辺の立入禁止措置の強化 ・仮設トイレの設置 ・縄文杉周辺でのマナー指導(H6～)		233,489
			植生復元措置を講じるため「縄文杉周辺を立入禁止」(屋久島営林署)			
1995	H7		縄文杉先休憩所整備(鹿児島県)	屋久島世界遺産地域連絡会議設置		256,645
1996	H8		踏圧防止と植生回復措置のため「展望デッキ」設置(屋久島営林署) 登山者の立ち入りは展望デッキに限定される			252,838
1997	H9		「ヤクスギ樹勢回復に関する調査」(屋久島森林環境保全センター)			263,734
1998	H10		「縄文杉樹勢回復に関する調査」(屋久島森林環境保全センター) 「縄文杉の樹勢及び植生回復事業」(屋久島森林環境保全センター) (H10～H12)			279,735
1999	H11		縄文杉周辺の一部土壌の改良策実施(屋久島森林環境保全センター)	屋久島山岳部利用対策協議会 ・マナーガイド、リーフレットの作成・配布(H11～)		260,161
			土壌改良によって、根の一部の新たな発芽など樹勢回復の兆しを見せる			
2000	H12	縄文杉登山道の一部となっている安房森林軌道(トロッコ専用道)が正式な登山道として認められる		屋久島山岳部利用対策協議会 ・町道荒川線マイカー規制スタート(GWの3日間)	29,717	263,077
2001	H13		「樹勢回復及び植生回復措置事業」(九州森林管理局)		39,625	286,277
2002	H14		「縄文杉の経過観察調査(第1回目)」(九州森林管理局)	屋久島山岳部利用対策協議会 ・マナーガイドの発行、マナービデオの放映(H14～)	34,056	289,535
2003	H15		「樹勢回復及び植生回復措置事業」(九州森林管理局)		40,834	314,757
2004	H16		「縄文杉の樹勢回復及び植生回復措置工事」(屋久島森林環境保全センター)	屋久島地区エコツーリズム推進協議会設置(H16)	41,866	293,832
2005	H17	5月、縄文杉樹皮剥離被害を受け、対策としてカメラを設置(屋久島森林環境保全センター) 12月、豪雪により太枝(太さ80cm長さ4.2m)が折損落下。 (19年1月14日～屋久杉自然館にて展示)			53,619	316,884
2006	H18	折れた縄文杉の枝をヘリコプターで搬出。屋久杉自然館に展示	樹木医による剥皮被害箇所の治療を実施(九州森林管理局)		63,237	333,224
2007	H19		7月、暴風により中枝(太さ30cm長さ3.8m)が折損落下 樹木医による剥皮被害箇所の治療を実施(九州森林管理局) 「縄文杉の経過観察調査(第2回目)」(九州森林管理局)		67,074	406,387
2008	H20	縄文杉への登山者は約9万人に急増	樹木医による剥皮被害箇所の治療を実施(九州森林管理局)	エコツーリズム推進法施行(H20)	92,609	385,987
			シカ侵入防止柵(ネット)の設置(九州森林管理局)(H20～H21)	屋久島山岳部車両運行対策協議会設置(H20) 山岳部保全募金による屎搬出開始		
2009	H21		樹木医による剥皮被害箇所の治療を実施(平成21年度以降、継続的に経過観察)	屋久島エコツーリズム推進協議会発足(H21)	91,015	327,861
			縄文杉デッキ補強工を実施(九州森林管理局)	屋久島山岳部車両運行対策協議会 ・町道荒川線マイカー規制期間延長(GW&夏の71日間)		
			快適登山日カレンダーの提供開始(屋久島世界遺産センターH21)	世界遺産地域科学委員会設置		

年(西暦)	(和暦)	縄文杉発見からの経緯	縄文杉保護の経緯	委員会、検討会、協議会(事業内容)ほか	縄文杉ルート入込	屋久島全体の入込
2010	H22		設置したシカ柵の効果で、縄文杉周辺の林床植生は、年々回復の兆し(H22~H25)	エコツーリズム全体構想案が協議会で承認される(H21)	89,623	333,219
				世界遺産地域科学委員会ヤクシカWG設置		
				屋久島山岳部車両運行対策協議会 ・町道荒川線マイカー全期間規制(3-11月)		
				携帯トイレ導入開始。縄文杉ルートでは携帯トイレは補完的役割の位置づけ		
2011	H23		縄文杉利用調整を含む「屋久島自然観光資源の利用及び保全に関する条例案」を町議会へ上程するも否決される		82,620	319,736
2012	H24		「縄文杉の経過観察調査(第3回目)」(九州森林管理局) ・縄文杉の正面から見える大枝付け根に腐朽を発見 ・大枝折損落下の対策として「ケーブリング」を実施 ・安全対策のため、北デッキ、ウォークボードを立入制限		83,862	305,201
2013	H25		北デッキ撤去(九州森林管理局)		83,466	299,744
2014	H26			入島税等検討会(屋久島町) ・新たな協力金の導入が決定	74,402	284,684
2015	H27		北デッキの代替デッキ設置(環境省)	世界自然遺産屋久島山岳部環境保全協力金条例制定	56,994	274,095
2016	H28	「屋久島の林業集落跡及び森林軌道跡」が「林業遺産」に認定・登録	南デッキの撤去と代替デッキ設置(九州森林管理局・環境省)		60,456	267,364
2017	H29		ケーブリングの撤去(九州森林管理局)※予定	屋久島山岳部車両対策協議会と屋久島山岳部利用対策協議会が統合。「屋久島山岳部保全利用協議会」発足		
				世界自然遺産屋久島山岳部環境保全協力金スタート		